

図1 長崎ブリックホールのエントランス

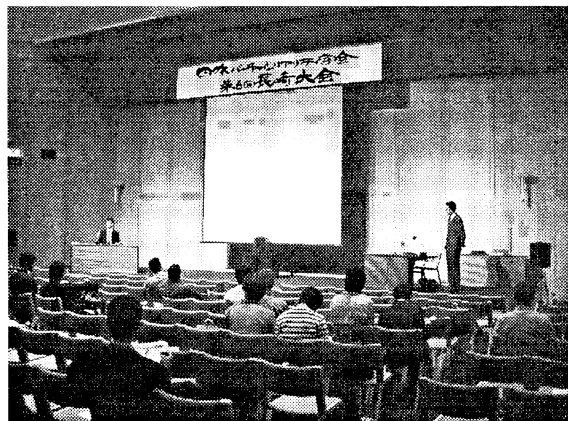


図3 発表の様子 (その1)



図2 受付へのエスカレーター

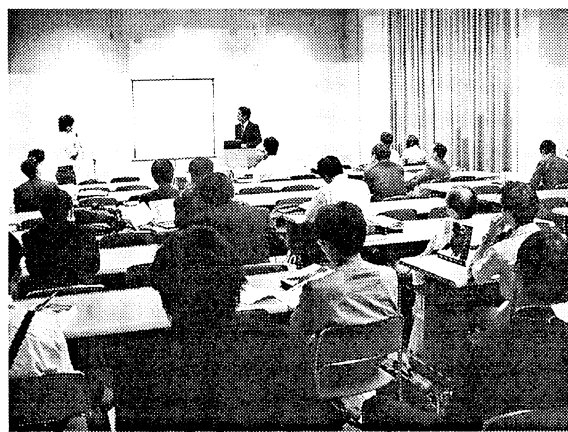


図4 発表の様子 (その2)

以上、おかげさまを持ちまして、無事に終了したことに参加された皆様のご支援ご協力を心より感謝申し上げます。

◆幹事/デザイン/HP 担当から 金子照之

幹事 (長崎総合科学大学)

6年前に竹田先生に誘われてVR学会に入会して、会員番号は27番と上位の方ですが、一度も年次大会に参加したことがなく、ほとんど幽霊会員でした。あの当時から竹田先生は「2001年のVR大会は長崎でしょう」と目論んでいました。本当に開催することになり、私は幹事に任命されましたが、Webの立ち上げ、大会ロゴマークやポスターのデザインを主に担当しました。幽霊幹事です。その他の大変な仕事は、竹田大会長、裏幹事の北島先生、本多秘書に捌いて頂き、本当にありがとうございます。勿論、参加者の皆様の御蔭で、論文件数160の大盛況となりましたことを深く感謝致します。VR文

化フォーラムとの同時開催、招待講演のドタキャンなど、おそらく前例のない大会も無事に終了して、ひとまず安心していきます。

学会を開催するのは雑多で面倒なこともいろいろあり、約1,300通のメールをやり取りして大変でしたが、凄く貴重な体験になりました。第5回幹事の矢野先生から懇切丁寧な大会運営手順を伝授して頂き、過去の大会の流れを参考にしつつ、長崎独特の雰囲気^{じゃおど}を盛り込めたいと思います。特に懇親会での龍踊りは強烈な印象で、私は何度も観ましたが、あんなに間近で観たのは初めてでした。また、後輩と久しぶりに再会できたり、ほとんどメル友状態だった歴代幹事さまと実際に対面できたり、VR研究最前線に触れる以外の「おまけ」がアタリだったので良かったです。修学旅行以来の長崎という方も多かったようですね。長崎での今大会が皆様を刺激して、新しいVRが拓かれていくことを祈念します。私自身もバーチャルな幽霊会員を改め、リアルな会員となり、来年の第7回大会に参加できるよう、がんばります。